

令和5年10月3日

我が国の国際民間航空機関（ICAO）加盟70周年記念レセプションにおける
堀井外務副大臣ビデオメッセージ

皆さん、こんばんは。日本国外務副大臣の堀井巖です。我が国 ICAO 加盟70周年にあたり、祝辞を述べさせていただきます。

コロナ禍の後、人の移動が再び活発になる中で、国際民間航空の安全確保とその発展に取り組む ICAO の重要性が国際社会で再認識されています。ICAO の活動に日々ご尽力されている、シャクターノ理事会議長、サラサール事務局長を始め、加盟国及び ICAO 事務局の皆様にご敬意を表します。

我が国は、本年5月末に、シャクターノ理事会議長を日本にご招待しました。このことは、まさに我が国が ICAO の活動を重要視していることの現れです。訪日中、議長には、政府関係者及び我が国の航空業界ハイレベルとの意見交換、大学生やメディアとの対話をして頂きました。このような機会を通じて、航空及び環境保護に関する国際協力についての日本の取組への理解を深めていただきました。また、ICAO の活動や取組を日本国内に紹介していただく機会にもなりました。

ICAO は、航空分野における国際ルールの策定・実施だけでなく、近年では、気候変動やテクノロジーの進化への対応等、地球規模の新たな課題においても、主導的な役割を果たしています。

さらに、ICAO では、民間航空の安全確保の観点から、度重なる北朝鮮によるミサイル発射、ロシアによるウクライナ侵略等についての重要な議論も行われています。激動の世界情勢の中で空の安全を守る国際機関としての ICAO の責務と役割は益々重要になっているのです。

我が国は、理事国として、多岐にわたる ICAO の活動に、長年積極的に貢献してきました。我が国は、日・ICAO 関係70周年の節目を迎え、世界の民間航空の発展に向けて、積極的な貢献を行っていく強い決意を新たにしております。そして引き続き、ICAO コミュニティの仲間たちと共に、様々な面から ICAO での議論をリードしていきます。是非、皆で共に手を携えて取り組んでまいりましょう。

最後に、本日お集まりの皆様のご健康と、更なる日・ICAO 関係の発展を心より祈念申し上げます。私の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。